

みずほCustomer Desk Report 2023/04/24 号 (As of 2023/04/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	134.32
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	134.00	1.0967	147.00	1.2437	0.6742
SYD-NY High	134.49	1.0993	147.56	1.2448	0.6745
SYD-NY Low	133.55	1.0938	146.45	1.2368	0.6678
NY 5:00 PM	134.13	1.0989	147.36	1.2445	0.6694
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,808.96	22.34	日本2年債	▲0.0400%	0.0000%
NASDAQ	12,072.46	12.90	日本10年債	0.4600%	▲0.0100%
S&P	4,133.52	3.73	米国2年債	4.1785%	0.0297%
日経平均	28,564.37	▲ 93.20	米国5年債	3.6595%	0.0314%
TOPIX	2,035.06	▲ 4.67	米国10年債	3.5671%	0.0324%
シカゴ日経先物	28,705.00	75.00	独10年債	2.4835%	0.0410%
ロンドンFT	7,914.13	11.52	英10年債	3.7530%	▲0.0040%
DAX	15,881.66	85.69	豪10年債	3.4750%	▲0.0450%
ハンセン指数	20,075.73	▲ 321.24	USDJPY 1M Vol	10.48%	0.05%
上海総合	3,301.26	▲ 65.77	USDJPY 3M Vol	10.59%	0.07%
NY金	1,990.50	▲ 28.60	USDJPY 6M Vol	10.64%	0.07%
WTI	77.87	0.50	USDJPY 1M 25RR	▲1.72%	Yen Call Over
CRB指数	270.80	▲ 1.11	EURJPY 3M Vol	10.36%	0.00%
ドルインデックス	101.82	▲ 0.02	EURJPY 6M Vol	10.56%	▲0.05%

東京	朝方、本邦3月CPIが発表されコアコア指数の伸びが前月から加速したことでドル円は下落し、134.00レベルで東京時間オープン。その後、仲値にかけては実需のドル買いに支えられ、一時134.25まで上昇。一巡後は前日の米経済指標の下振れもあってか、米金利が低下する流れにドル円も値を下げ、上値重く推移。結局、133.78レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は方向感なく推移。ポンドは対ユーロで売られ対ドルでも弱含んだ。ドル円は133.78レベルでオープンし、金利上昇を背景に134.10まで上昇するも勢い続かず、結局133.77レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.2418レベルでオープンし、英3月小売売上高が予想を下回り、1.2377まで下落。結局、1.2395レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は134円台前半でスタート。東京時間では本邦3月CPI発表があり、コアコア指数が予想以上に伸びたことから、日銀の金融政策修正期待の円買いが先行。更に今週発表された米経済指標が低迷している事もあり、リスクオフの円買いが優勢となり、じり安で推移し133.77レベルでNYオープン。朝方に発表された米4月S&Pグローバル製造業、サービス業、コンポジットPMI(速報値)が全て予想を上回り、ドル買いで反応し134.49まで急伸。しかしその後は伸び悩み、米金利低下に伴い134円台前半まで下落。午後は上値重い展開が続く、134.10付近で揉み合い、結局134.13レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。独金利の低下に伴い海外時間安値1.0938まで下落する場面も見られたものの、ユーロ圏4月S&Pグローバルサービス業とコンポジットPMI(速報値)が予想を上回るとユーロ買いが先行、その後複数のECBメンバーが利上げに関するカ派色の強い内容を発信した事を受け更に上押し、1.0982レベルでNYオープン。朝方は米経済指標の結果を受け一時安値1.0943まで反落するも、その後は下げ渋り、1.09台後半まで買い戻される。午後は1.0980付近を挟んだレンジ推移が続き、1.0989レベルでクロス。

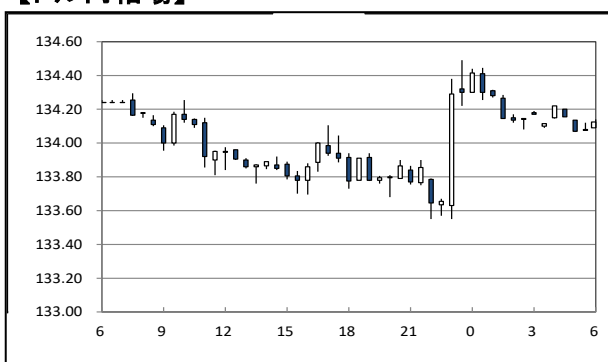
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月21日	08:30	日 全国(CPI/コアCPI/コアコアCPI)	3月 3.2%/3.1%/3.8%	3.2%/3.0%/3.6%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	3月 -1.0%/-3.2%	-0.6%/-3.1%
	16:30	独 S&P(製造業/サービス業/コンポジット)PMI・速報	4月 44.0/55.7/53.9	45.7/53.4/52.9
	17:00	欧 S&P(製造業/サービス業/コンポジット)PMI・速報	4月 45.5/54.4/56.6	48.0/53.7/54.5
	17:30	英 S&P(製造業/サービス業/コンポジット)PMI・速報	4月 46.6/54.9/53.9	48.4/52.8/52.2
	22:45	米 S&P(製造業/サービス業/コンポジット)PMI・速報	4月 50.4/53.7/53.5	49.0/51.5/51.2

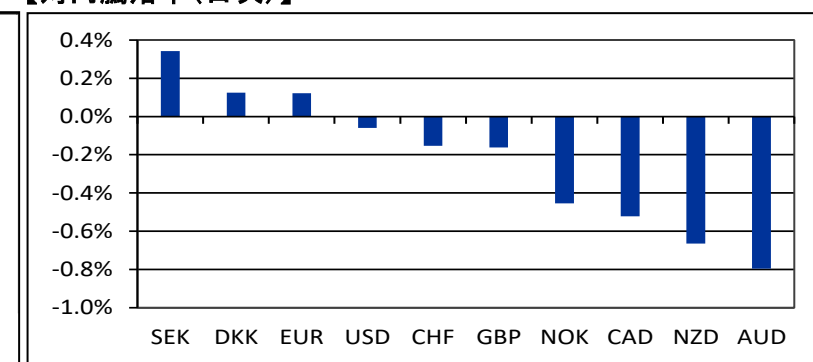
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月24日	17:00	独 IFO(企業景況感/現況/期待)指数	4月 93.4/96.0/91.1	93.3/95.4/91.2
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	3月 -0.20	-0.19

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.50-134.70	1.0970-1.1100	146.50-147.90

【マーケットインプレッション】

先週末のドル円はNY時間に一時133.55まで週安値を更新した後、米4月PMIの良好な結果を受けて134.49まで急反発する展開。本邦3月CPIはコアコア指数(前年比)ベースで+3.8%と市場予想(+3.6%)を上回る結果となり、日銀の現行金融緩和策修正への思惑が意識された。また前日の米景況指標(フィラデルフィア連銀景況指数)の大幅悪化もセンチメントを重くさせ、アジア株全般の軟調な推移を横目にドル円は134円を割れ、海外時間にかけて133円半ばまで下落する動きとなった。しかしその後、米4月PMI(速報値)が軒並み市場予想比上振れとなったことでドル買いが回帰し134.49と日通し高値まで反発し134.13レベルで越過となった。5月初旬のFOMCの前に米経済指標ドリブンな一週間となったものの、強弱入り混じる内容に結局方向感は見出せないままブラックアウト期間入り。次回会合では25bp利上げを90%程度織り込んでいる状況ではあるものの、ターミナル水準や据え置き期間を巡っては依然市場との乖離が広く、今週末本日3月シカゴ連銀全米活動指数、4月ダラス連銀製造業活動指数をはじめ、週後半の米1QGDP、3月PCEコアデフレーター、ミシガン大消費者マインドの結果を慎重に見定めつつ調整地合いが継続しよう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・鈴木